

指導看護師派遣事業所・指導看護師に実施して頂く業務について

※指導看護師となる方の条件について

指導看護師（初回の指導、急変時の連携及び実地研修の最後の評価を実施し、評価票へ署名ができる方）となる方は、医師・保健師・助産師又は看護師（正看護師）のみです。

※准看護師等については、指導看護師の指示の下で講師補助者として研修に携わることのみ可能であり、指導看護師とは認められませんので、御注意ください。

● 実地研修実施前（指導者養成研修の受講等）

①指導者養成研修（自己学習）の実施

指導者用マニュアル及びDVD（希望事業所のみを送付・DVD：250分程度）により自己学習（指導者養成研修の受講）をし、指導者養成報告書（アンケート）に回答してください。

なお、過去に本研修を受講しアンケートを提出した方、または公益財団法人日本訪問看護財団の実施する「喀痰吸引・経管栄養セミナー」を修了している方は、今回、新たに指導者養成研修を受講いただく必要はありません。

※アンケートは、事業所で回答者分を取りまとめて、財団へお送りください。

②研修協力承諾書・口座振替依頼書・指導看護師一覧の作成

実地研修に御協力いただいた謝礼を後日財団から支払います。そのための必要書類になりますので、必要事項を御記入の上、アンケートと一緒に財団へお送りください。

※謝礼単価：1組（1人の介護職員と1人の利用者の組合せ）につき9,300円（平成28年度研修分より適用）。

（謝金の対象となるのは、原則として研修修了した組のみです。）

※口座振替依頼書について、以前に提出いただいている場合も御提出ください。

③評価票の確認

実地研修で使用する評価票（9種類）の内容を実地研修前に御確認ください。

● 実地研修時

①介護職員等に対する指導の実施

実地研修にあたり、かかりつけ医等の医師からの承認と指示を確認した上で、介護職員等に対する指導を必ず実施してください。

なお、初回の指導、急変時の連携、最後の評価は必ず指導看護師（医師・保健師・助産師・正看護師のみ可）が行ってください。それ以外の時間は必要に応じ医師・看護師と連携した経験のある介護職員及び利用者本人・家族が指導の補助を行っていただいても構いません。

②評価票を用いた評価の実施

所定の評価票の全ての項目についての評価結果が、連続2回「手順どおりに実施できる」となるまで評価を実施してください。評価の際、利用者（家族）の意見を聴取することが可能な場合は、利用者（家族）の意見を踏まえた上で評価を実施してください。

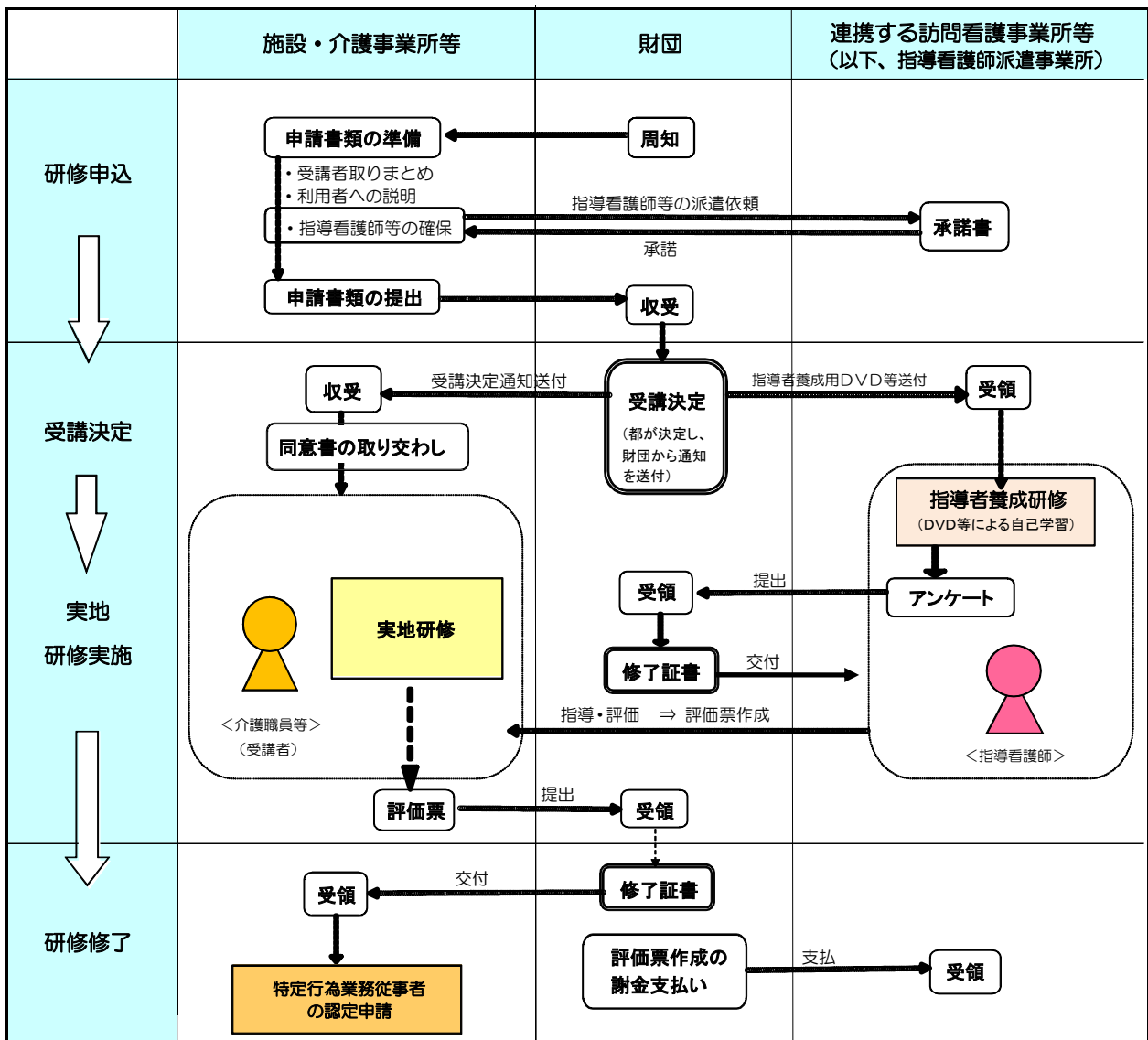
● 実地研修終了後

指導看護師は指導看護師派遣事業所に評価票を提出してください。指導看護師派遣事業所は評価票を取りまとめ、必要事項(訪問看護事業所署名や指導看護師の署名)が記入されているか確認の上、介護職員等の所属する施設・事業所等へ提出してください。

※留意事項

指導看護師が、本研修で受講決定していない介護職員等に対して、任意に実地研修の指導をしても、介護職員等が研修を修了したとはみなされないので御注意ください。

(参考) 研修の申込から修了までの流れ



※ 指導者養成研修を受講し、「アンケート」を提出頂いた後から、実地研修の指導が可能となります。